デロイト トーマツ サービシーズは、デロイト トーマツ グループを縁の下の力持ちとして支えています

変化の先の成長へ、お互いを高めあい“KAIZEN”を積み重ねる

K.K.
デロイト トーマツ サービシーズ株式会社

HR　Operations
人事　スタッフ

恐れず踏み出す一歩、プライベートと両立しながら成長させてくれる職場

A.N.
デロイト トーマツ サービシーズ株式会社

HR　Operations
社保　ジュニアスタッフ

第一線で活躍するプロフェッショナルに寄り添い、デロイトの信頼を縁の下で支える

I.S.
デロイト トーマツ サービシーズ株式会社

CTC　Operations
データ登録センター　シニアスタッフ

価値観・考えの違いを尊重し、海外と日本の間で、業務の最適解を追求する

N.I.
デロイト トーマツ サービシーズ株式会社

Global　Finance Service　Procure to Pay　マネジャー

採用ページへ戻る

変化の先の成長へ、お互いを高めあい“KAIZEN”を積み重ねる

K.K.
デロイト トーマツ サービシーズ株式会社
HR　Operations　人事　スタッフ

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。

Q.現在担当されている業務内容を教えてください。

A.私はグループ会社に対するシェアードサービス業務のうち、人事領域を担当しています。現在は、人事登録に関する業務を中心に、グループ会社の退職手続きに関するオペレーション業務を行っています。具体的には、退職申請の受付から所属部署との連携、必要書類の回収、退職処理までの一連の業務において、担当業務のリーダーを担当しています。

約1年半前に入社したのですが、最初の担当業務は証明書発行業務でした。2025年に退職手続き業務の新規受託が決定したのをきっかけに、担当業務を変更し、立ち上げから関わっています。退職オペレーションの立ち上げの経験は、私にとって新しい挑戦となり、日々学びながら取り組んでいます。

Q.退職オペレーションは、1つのキャリアのクロージングという大切な場面に関わりますが、大人数向けの事務オペレーションのサービスにおいて、難しさややりがいを感じることを教えてください。

A.私たちが担当しているグループには、公認会計士やコンサルタントなど、独立やキャリアチェンジが多い職種の方が多く在籍しています。そのため、退職手続きに対応する機会が多くありますが、私たちはこれまでの知見と経験を活かし、多様なケースにも迅速かつ丁寧に対応する必要があります。

特に難しい点は、同じ退職手続きでも法人ごとに運用が異なるため、柔軟かつ迅速な対応が求められることです。例えば、退職申請の承認フローや必要書類の種類などが法人ごとに異なるため、それぞれに合わせた対応が必要になります。

こうした個別のニーズを効率的に満たすため、退職申請に関する確認事項や書類督促などの定型メールをフォーマット化し、自動化することで業務の効率化を図りました。業務プロセスの変更や改善が無事に成功した瞬間には、大きなやりがいを感じます。

やりがいは“人”との関わりにおいても感じることができます。デロイト トーマツを卒業する方であっても、気持ち良く、丁寧な対応をすることで、直接感謝の言葉を頂くことがあります。そういった場面には、自分たちが退職者にとっての「企業の人事担当」であることを実感します。

Q.立ち上げフェーズの業務に対応する中で、現在の課題・今後取り組みたいことはありますか？

A.業務フローやマニュアルがまだ十分に整備されていない課題があり、今後は整備に力を入れていきたいと考えています。特に注力したいのは安定的な運用の次の段階である、生産性の向上と効率化 です。

チームメンバーが自律的に業務を進められる体制の構築を目指しながら、属人化を防ぎ、標準化された業務プロセスの実現を意識し、マニュアルの作成や改善を推進しようと考えています。業務改善のマインド醸成の土台として、残業を前提としない働き方もチームで意識しています。

また、仕組みだけではなく、メンバー同士が意見交換・情報共有しやすい環境づくりも力を入れていきたいと思っています。私自身は信頼関係の構築のためにメンバーへ感謝の一言を忘れないよう、心がけています。

Q.柔軟な働き方を実現しながら、スムーズにチームで業務をするための工夫などはありますか？

A.私たちのチームでは、出社時と在宅勤務時のどちらでも、同じようにスムーズに働ける環境にするため、互いに声掛けを意識し、連携体制を維持するよう心掛けています。また、チャットの文章に対し相手が冷たく感じないように、言葉に絵文字を活用するなど、コミュニケーション円滑化のためにチームメンバー同士でも工夫をしています。

Q.入社当時を振り返ると、所属部門の職場の雰囲気はどのように感じましたか？

A.入社当時に感じたことは、入社年度に関係なくお互いに助け合う・尊重する風土があることでした。先輩だから話しかけづらいなど、そういったことは全くない環境が有難かったです。

現在も私の部門は、一人一人の思いを尊重し、働き方の違いを認め合える環境です。急なお休みも理由があればとりやすいですし、社職員同士も競争意識ではなく、共通の目標に向かって高めあう気持ちで切磋琢磨している実感があります。

Q.デロイト トーマツ サービシーズへの入社を検討している方に、先輩としてメッセージをお願いいたします。

A.シェアードサービスを提供しているため、事務職のイメージを持たれる方もいらっしゃるかもしれませんが、単なるデスクワークをする仕事ではありません。チームメンバーとコミュニケーションを取り、課題解決に取り組んだり、業務フローを改善する・・・と、"常に試行錯誤をしながら働く仕事"です。

また、成長過程の組織なので、業務拡大の波に乗って、新しいチャレンジをしたい方や、成長したいという方には働きやすい環境です。

一覧へ戻る

採用ページへ戻る

恐れず踏み出す一歩、プライベートと両立しながら成長させてくれる職場

A.N.
デロイト トーマツ サービシーズ株式会社
HR　Operations　社保　ジュニアスタッフ

※役職・内容はインタビュー当時のものになります

Q.現在担当されている業務内容を教えてください。

A.グループ会社の役員・従業員の社会保険手続きを担当する、約20名の部門に所属しています。現在は、社会保険業務の中でも「資格喪失手続き」を3名の担当者で分担して対応しています。社会保険業務と一言で言っても、健康保険、厚生年金保険、雇用保険、公認会計士企業年金基金など、幅広い手続きがあります。

女性が多い会社ですが、私が所属する部門では、私を含めて2名の男性が働いています。当初は女性が多い職場環境に馴染めるか少し不安もありましたが、仕事に誠実に取り組むメンバーばかりで、性別に関係なく働きやすい職場だと感じています。

Q.シェアードサービスや大人数向けの事務オペレーションのサービスにおいて、難しさややりがいを感じることを教えてください。

A.社職員を含め約2万人の膨大な件数やさまざまなケースを法令に基づいて対応する必要があることが、社会保険業務ならではの難しさだと思います。現在の職場では、前職までの経験に比べて、業務の正確性だけでなく効率も重視されるため、常に効率的な方法を模索しています。

特に繁忙期には処理件数が増えますが、限られた時間の中でメンバーと協力して乗り越えたときには、大きな達成感を得られます。また、さまざまなケースに対応することで、社会保険に関する知識がより深まる点も、この仕事の魅力だと感じています。

Q.入社1年目のNさんにとって、現在の課題や、今後取り組みたいことはありますか？

A.まずは業務の効率化に取り組みたいと考えています。私の部門は効率化への意識が高く、入社後は自分自身も効率を追求したいという刺激を受けています。

具体的には、部門内で積極的に共有されるナレッジを参考にしながら、周囲のメンバーと意見交換する機会を活用し、知識を広げています。

今後は、担当業務全体の効率化のために、イレギュラーケースのマニュアル化を進めていきたいと考えています。イレギュラーケースとは、社会保険業務において珍しいケースや判断基準が明記されていないケースを指します。これらのケースもマニュアル化することで、次回同じ対応が必要になった際に、誰でも定型的に判断できるようになると考えています。

もう1点はチームワークの強化です。定期的なフォローアップ面談を通じてコミュニケーションを深め、効率化に向けた意見が出しやすい関係づくりを目指していきたいです。

Q.在宅勤務時の働き方や、出社日とのメリハリのつけ方を教えてください。

A. 以前、在宅勤務制度のない会社で働いていたときは、通勤や始業前の準備も含めて、1日あたり約1時間半ほど余分に時間を使っていました。在宅勤務制度が利用できることで、その時間を家族と過ごす時間や自己研鑽に充てられるようになりました。

在宅勤務日と出社日のメリハリについては、在宅勤務では作業に集中しやすい環境を活かして資料作成や細かい確認作業を行い、出社時には部門内外のメンバーと積極的にコミュニケーションを取るなど、業務内容に応じて働き方を工夫しています。

Q.会社の制度やルールを上手に活用できている場面はありますか？

A.フレックスタイム制によって、日々の始業・終業時刻や労働時間を自分で調整できる点は、自分に合った働き方を後押ししてくれていると感じます。また、座席を固定せず執務エリア内で自由に選べるフリーアドレス制は、普段あまり話す機会のないメンバーとも自然とコミュニケーションが生まれるため、入社したばかりの方でも職場に馴染みやすい雰囲気があります。

フレックスタイム制は、半日休むほどではないけれど私用で1～2時間始業を遅らせたい場合などにも柔軟に活用できています。

Q.デロイト トーマツ サービシーズへの入社を検討している方に、メッセージをお願いいたします。

A.デロイト トーマツ サービシーズへの入社を考えている皆さんには、ぜひ自信を持って飛び込んでみてください、とお伝えしたいです。

私自身、転職活動の際には自分の力でやっていけるか、雰囲気に馴染めるか不安もありましたが、勇気を持って飛び込んでみたところ、自分の能力を発揮できる仕事や、足りない経験を学びながら補う機会に恵まれました。社会人として成長できる環境が整っていることはもちろん、職場の雰囲気も温かく、とても働きやすい会社だと実感しており、自信を持ってお勧めできる会社です。

一覧へ戻る

採用ページへ戻る

第一線で活躍するプロフェッショナルに寄り添い、デロイトの信頼を縁の下で支える

I.S.
デロイト トーマツ サービシーズ株式会社
CTC　Operations　データ登録センター　シニアスタッフ

※役職・内容はインタビュー当時のものになります

Q.担当されている業務内容を教えてください。

CTC Operations（クライアントからの受注に関するオペレーション）という領域のデータ登録センターという部署に所属し、約45名のチームリーダーを務めています。チームは仙台と東京に拠点があり、正職員、契約職員、派遣スタッフなど、多様な雇用形態のメンバーで構成されています。

主な業務は、グループ会社のクライアント業務に関わる顧客アカウント情報、営業活動案件情報、契約期間中の案件情報の登録です。少し分かりづらい業務のため、BtoB（企業間取引）の流れに沿って説明いたします。

＜取引の主な流れ＞

営業活動⇒契約⇒業務提供

＜データ登録センターの主な役割＞

【アカウント登録】：新しい取引を始める前の、営業活動の時点で顧客アカウント情報を登録。

（具体例）会社名、法人番号、住所、監査法人トーマツの監査先かどうか、既存アカウントとの重複確認。

【営業活動案件情報登録】：営業活動に関する情報を随時登録。

（具体例）クライアントへ具体的な提案をする前の事前チェック手続きに使用される、営業活動の進捗。時間・経費等の登録用の計上コード作成等。

【契約期間中の案件情報登録】：契約締結時に契約情報を登録・更新。業務提供中の進捗、時間、経費の登録用コードの作成。予実管理のための実行予算登録。

（具体例）契約期間や取引金額、フロント担当者などの情報。

このように、このように、取引の各段階で必要となる情報を正確かつタイムリーに登録する必要不可欠な業務を担当しています。

Q.シェアードサービスとしてクライアント情報の管理を支える中で、どんな思いを持って仕事をしていますか？

データ登録と聞くと、シンプルで簡易的な業務というイメージを持たれるかもしれませんが、私たちが扱っているのは第一線で活躍するプロフェッショナルの皆さんの営業活動やデリバリー活動に必要不可欠な情報であり、常に納期の厳守や正確さが強く求められる仕事です。

もし情報にミスがあれば、正確な収益計上に影響を及ぼしたり、請求書発行時に不具合を生じさせたり・・・と、クライアントにご迷惑をおかけすることになります。そのため、私たちは常に緊張感を持って業務に取り組んでいます。決して簡易的な仕事ではありませんが、期限内に正確に業務を達成できたときには、大きなやりがいを感じます。

Q.在宅勤務時の働き方や、出社日とのメリハリなどを教えてください。

在宅勤務のうれしい点として、愛犬と過ごすこともできるためリラックスしながら業務ができることです。横で寝ている表情や、時には愛犬のいびきを聞いて、ほっと癒される場面もあります。

出社の日は同僚とランチにいくことを楽しみにしています。オフィスのある仙台 青葉通り付近では、おいしいランチがたくさんあります。1,000円以下で海鮮丼や釜飯が食べれるお店がお気に入りです！

Q.デロイト トーマツ グループのカルチャーはチームの皆さんにどんな影響を与えていますか？

A.チームメンバーの普段の行動の中に、私たちの共通の価値観（参照：Our purpose）が浸透行動の指針となっています。例えば、新人へのOJTでは、寄り添った姿勢を意識するなど、普段の行動の中において会社が重視する価値観を体現していく姿勢が高まっています。また、仕事に対して能動的な"共に高め合い、イノベーションを起こす"という価値観に対する意識も高くなっており、業務上の気づきに対するチーム内での意見交換が活発になっています。

Q.デロイト トーマツ サービシーズへの入社を検討している方に、メッセージをお願いいたします。

この仕事の魅力は、デロイト トーマツ グループのプロフェッショナルが社会に大きなインパクトをもたらす、その基盤を私たちが支えていることに大きなやりがいを感じられることです。

また、一人ひとりの働き方を尊重しながら、チームの一員として成長できる環境が整っています。

ぜひ私たちと一緒に、充実したキャリアを築いていきましょう！

一覧へ戻る

採用ページへ戻る

価値観・考えの違いを尊重し、海外と日本の間で、業務の最適解を追求する

N.I.
デロイト トーマツ サービシーズ株式会社
Global　Finance Service　 Procure to Pay　 マネジャー

※役職・内容はインタビュー当時のものになります

Q.担当されている業務内容を教えてください。

A.Procure to Payという部門に所属しています。日本語で表現すると、調達（グループ会社が購入）した商品やサービスの支払いを行っています。具体的にはベンダー（調達先）から届いた請求書を支払い手続きに進めるためにチェックや登録をしています。グループ会社全体の支払い件数は毎月4000件強。対応範囲は海外や国内のベンダー、法人、個人と多岐に渡ります。また、デロイトグローバルに属する海外の法人（Global　Finance Service：以下、GFS）が業務委託元であり、海外のチームとの日常的な業務連携が発生するチームです。

私は20名程度のチームをまとめるマネジャーとして、業務安定化やチームメンバーの就業管理・人材育成などに責任を持つ一方で、現場の一員として、Procure to Payが担当する業務範囲の整理や法人ごとに異なるルールの整備といった、泥臭い業務にも日々取り組んでいます。

Q.複数の関係者と連携して業務を進める上で、チームや全体の最適化を目指す際に感じる難しさや、やりがいを教えてください。

A.チームがやるべき業際の整理を行う際には、日本のグループ法人、海外の委託元、そしてオペレーションを担当するチームメンバー、それぞれの立場を踏まえて判断することが求められます。

海外法人である委託元のGFSは、業務範囲が明確でシンプルな考え方を持っている一方で、日本の商習慣はホスピタリティが高く、海外が考えるシンプルな業務領域には該当しないグレーゾーンが存在します。例えば、日本の商習慣の典型的な事例として、返品期限を過ぎた商品に対しても事情を考慮し、特例で対応するような柔軟性が求められるような意味合いです。

こうした両者の考え方や要望を吸い上げた上で、最適な落としどころを探り、オペレーションメンバーが実行できるフローに落とし込む必要があります。海外と日本の間で言語や文化の違いを理解しながら交渉を進めることには難しさを感じますが、その難しさは達成感の裏返しでもあります。業務整理が良い方向に進んだときや、交渉がうまくいったときには大きなやりがいを感じます。

Q.チームとして大切にしている考えや取り組みは何ですか？

A.私たちが大切にしているのは、顧客は各法人の社職員の皆さんであり、社職員の皆さんが円滑に処理できるよう努めたいという思いをチーム全員で共有することです。そのため、チームでは「分かりやすい申請を実現し、問い合わせ件数を減らすこと」を目標に、ユーザーフレンドリーなマニュアルの作成に取り組んでいます。

また、チームのコミュニケーションの強化も大切にしています。現在は在宅勤務の頻度が多く、チームメンバーにとって働き方の上でのメリットもありますが、コミュニケーション上のデメリットも感じています。在宅勤務でもチーム全体の連携をよりいっそう高めていきたいと思っています。

このような取り組みの結果、チームメンバーが同じ方向を向き、一丸となって仕事に取り組める瞬間は、マネジャーとして特にやりがいを感じる場面です。

Q.在宅勤務が多いチームですが、出社日の工夫を教えてください。

A.出社日は月に数回ずつ設けており、そのうち1日は全員が必ず出社する日にしています。出社した日には、エシックス会（エシカルカルチャー醸成のためのトークタイム）や、担当グループごとの勉強会などを行い、チーム内のコミュニケーションの促進や知識の場にしています。

Q.会社の制度や研修等を有効活用している事例はありますか？

A.Procure to Payチームは女性が多く、家庭と仕事を両立しながら働いているメンバーが多いです。特に在宅勤務制度やフレックスタイム制といった会社の制度は、お子様の世話や家事などと両立しやすく、ライフスタイルに合わせて無理なく働き続けるために活用されています。
また、会社の研修制度も積極的に活用することができています。例えば、マイクロソフトのPower BI研修を受講し、業務の効率化や自動化に役立てているメンバーも多いです。四半期ごとに開催される全社会議では、他部門の改善事例の発表を聞くことができ、部門を超えた知見の共有や、課題発見にも繋がっています。

Q.デロイト トーマツ サービシーズへの入社を検討している方に、メッセージをお願いいたします。

A.私たちの働く環境は常に変化しており、今取り組んでいる仕事も、3年後には全く違う形になっているかもしれません。デロイト トーマツ サービシーズは、そうした変化を前向きに“楽しむ”ことができる会社です。

また、Global　Finance Serviceという組織は、日本にいながら、海外のメンバーと日々英語でコミュニケーションを図ることができます。日本にいながら、グローバルな環境で働くことができるため、新鮮で刺激のある職場です。

一覧へ戻る　採用ページへ戻る